

漁海況月報

No. 2

平成19年 2月 1日

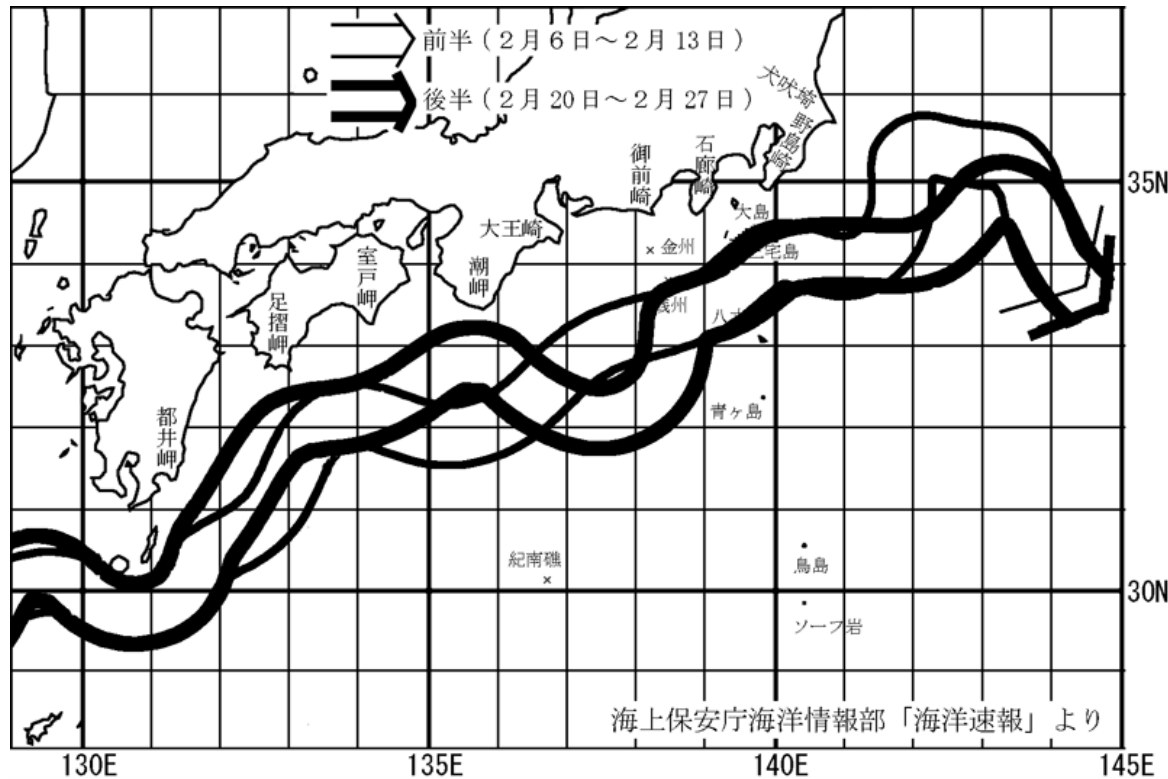
～ 2月 28日

静岡県水産試験場

(電話 054-627-1815)

静岡県水産試験場伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	14.6 0.6	15.1 0.6	15.0 1.2	16.0 1.6	14.4 0.3	15.6 2.0	12.5 1.1
中旬	14.1 0.2	15.4 1.3	15.8 2.1	16.3 2.0	16.1 2.1	15.6 2.3	13.1 1.4
下旬	14.1 0.4	15.7 1.7	15.7 2.0	16.7 2.4	16.0 2.3	15.7 2.3	13.4 1.8
月	14.3 0.4	15.4 1.2	15.5 1.7	16.3 2.0	15.5 1.5	15.6 2.2	13.0 1.4

【黒潮流路】

前半、黒潮は九州東岸でやや離岸し、さらに室戸岬から潮岬にかけて大きく離岸して流れた。その後、遠州灘沖 33° N 付近を北東に向かい、三宅島付近を通り、房総沖で小蛇行して流れた。前月の伊豆諸島海域での小蛇行は房総沖へと東進した。

後半には、黒潮は九州東岸を接岸傾向で流れ、室戸岬沖でやや離岸し、潮岬沖を接岸傾向で流れた。その後、遠州灘沖 32° N 付近まで蛇行し、駿河湾沖を北上後、三宅島付近を北東に向かい、房総沖を離岸傾向で東方へ流れた。前半の離岸傾向や小蛇行はそれぞれ東へ移動し、特に、室戸岬から潮岬の離岸傾向は遠州灘沖で小蛇行となった。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾では 13～16°C 台、駿河湾東部では 13～17°C、西部では 11～16°C 台で経過した。黒潮の小蛇行の通過に伴う暖水波及により平年に比べ全般に高めで経過し、特に中旬以降、下田および駿河湾では旬平均で 2°C 以上高めとなった。

【竿釣近海カツオ】

2月の県内主要5港（沼津、清水、焼津、小川、御前崎）における近海カツオの水揚量は 157 トンで前年同期の 29% であった。魚価は 525 円/kg で、前年同期を若干下回った。

静岡県船は小笠原諸島周辺海域で特大、特特大カツオを中心に漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量（県内主要5港）

期間	水揚量 (トン)	水揚隻数	水揚/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
19年 2月上旬	41	3	13.6	384
中旬	78	9	8.7	557
下旬	39	4	9.6	608
19年 2月計	157	16	9.8	525
18年 2月計	539	25	21.5	283
17年 2月計	544	40	13.6	376

【定置網】

平成19年2月、伊豆半島東岸大型定置網8か統（伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津）の水揚量は 67 トンで、操業がなかった赤石と古網を除く1漁場当たり水揚量 11.2 トンは前年 18.2 トンの 62%、平年値（昭和57～平成17年）23.0 トンの 49% であった。

魚種別漁獲量は、①カタクチイワシ 18.3 トン（A：前年同月比 117%、B：平年同月比 33%）②スルメイカ 17.3 トン（A：168%、B：154%）③サバ類 5.3 トン（A：90%、B：119%）④ブリ 5.0 トン（A：34%、B：41%）⑤ウルメイワシ 4.3 トン（A：62%、B：168%）の順であった。

カタクチイワシは伊豆山を中心に入網し、被鱗体長のモードは 12.5cm にみられた。スルメイカは谷津、富戸、川奈を中心に入網し、外套背長のモードは 26cm であった。サバ類は北川を中心に入網し、尾叉長のモードは 35cm であった。ブリは谷津、北川を中心に 551 本入網し、谷津に入網したものの尾叉長のモードは 79cm で、全体の平均体重 9kg であった。ウルメイワシは川奈を中心に入網し、被鱗体長のモードは 17cm であった。

漁場別水揚量は、谷津 16 トン（スルメイカ、ブリ中心）、伊豆山 15 トン（カタクチイワシ中心）、北川 15 トン（サバ類、カタクチイワシ、ブリ中心）の順であった。

[サバたもすくい棒受網]

小川港にはたもすくい、棒受網によってマサバ230トン、ゴマサバ540トンが水揚げされた。棒受網の漁場は三宅島及び三本周辺海域に、たもすくいの漁場は利島～大室出し周辺海域に形成され、棒受網では尾叉長28～34cmのゴマサバが主体に漁獲された。たもすくいでは尾叉長32～36cmのマサバと30～34cmのゴマサバが主体で混獲された。1kg当たりの平均単価は、マサバで238円、ゴマサバで53円であった。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量 (ト)	日数	延隻数	1隻当り (ト)	漁 場
平成19年 上旬	289	4	14	20.6	三本、三宅、利島
2月 中旬	360	6	15	23.4	三宅、三本、利島～大室出し
下旬	121	4	10	12.1	利島
計	770	14	39	19.7	-----
平成18年2月	606	8	17	35.6	三宅、三本、御蔵
平成17年2月	460	7	20	23.0	三宅、新島

[まき網]

マイワシの水揚げは、小川港では4.9トンで昨年同期(9.0トン)の54%、平年同期(48.2トン)の10%と低調であった。一方、沼津港では89.7トンで昨年同期(8.0トン)の11倍以上、平年同期(57.3トン)の157%と極めて好調であった。一方、伊東港では0.5トンでほぼ平年並みであった(平年同期0.6トン)。静岡港では水揚げがなかった。

注) 平年同期：過去5か年(2002～2006年)平均

[調査船の動向]

富士丸

1月18日 ～ 2月22日 第6次南方カツオ航海調査 (37日間)

駿河丸

2月1日 ～ 2月2日 サクラエビ調査(駿河湾) (2日間)
 2月5日 ～ 2月7日 地先定線観測(駿河湾、遠州灘) (3日間)
 2月8日 ～ 2月9日 サクラエビ調査(駿河湾) (2日間)
 2月13日 ～ 2月14日 サバ標識放流調査(駿河湾他) (2日間)
 2月16日 ～ 2月16日 深層水調査(駿河湾) (1日間)
 2月19日 ～ 2月20日 マリンロボ調査(3号基) (2日間)
 2月21日 ～ 2月22日 サバ標識放流調査(駿河湾他) (2日間)
 2月23日 ～ 2月23日 観測機器動作確認(駿河湾) (1日間)
 2月27日 ～ 2月28日 サクラエビ調査(駿河湾) (2日間)

静岡県水産試験場のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/imode/index.htm>
 右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAによる海面の水温分布画像を見ることができます。

